

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月19日更新

事務事業名	電子自治体共同化事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	政策部	課長名 大茂 竜二
	施策	2 行政改革の推進	所属課	企画課	担当者名 杉山 純一
	施策の柱	6 情報化の推進	所属班	情報企画班	(内線) 1262
予算科目	会計一般	款 2 項 1 目 16 事業連番 11073 根拠法令			成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県・市町村共同で電子自治体を構築するために、県及び県内市町村による「熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会」を平成15年10月に設置し事業に取り組んでいる。平成17年3月にくまもと電子申請窓口「よろず申請本舗」の運用を開始した。平成23年4月から民間ASPサービスを活用した新システムの運用が開始された。「汎用型GIS(くまもとGPMaP)」等の事業も取り組んでいる。平成29年度からは、ネットワークの分離にともない既存のファイル交換システム(行政業務支援システム)のセキュリティ機能を県情報セキュリティクラウドと同等とし運用予定である。
【業務の流れ】	①電子自治体共同運営協議会の各種会議への参加。 ②電子申請の説明会への参加。 ③負担金支払い事務。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特に聞いていない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	・熊本県電子申請受付システム(よろず申請本舗)の運用及び利用促進 ・くまもとGPMaP(汎用型GIS)の運用及び利用促進 ・行政業務支援システムの機能強化と利用促進	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・熊本県電子申請受付システムの運用及び利用促進 ・くまもとGPMaP(汎用型GIS)の運用及び利用促進 ・行政業務支援システムの機能強化と利用促進
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 → 可能な電子申請手続き数	予算の主な増減の理由 情報セキュリティクラウド負担金の増額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 → 市民
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) いつでもどこからでもパソコンによって、各種申請等を行うことができる。		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 → 電子申請の申請者数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 各種申請の利用状況が把握できる。利用件数が増加することが望ましい。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	件	イ	12	12	12	12	12	12	12	0
② 対象指標	人	イ	59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	62,500
③ 成果指標	件	イ	355	305	280	291	290	290	290	290
投資 入 費 量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	428	445	498	440	929	500	500	500
	(A) 事業費計	千円	428	445	498	440	929	500	500	500
(A)のうち指定経費	千円	428	445	498	440	929	500	500	500	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	5	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	130	130	200	130	200	200	200	0
	(B) 人件費計	千円	517	482	796	0	796	796	796	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	945	927	1,294	440	1,725	1,296	1,296	500

事務事業名	電子自治体共同化事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 協議会に出席し、ネットワーク強靱化及び次期行政業務支援システムの検討を行うなど、セキュリティ強化を図ったので達成した。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ネットワーク強靱化の継続的な検討及び電子申請の利用促進を積極的に行う。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 電子申請の住民への周知及び担当職員への周知も更に必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会（事務局：県）へ負担金として支払っているため、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 担当職員が出席する電子申請に伴う研修会参加や強靱化に伴うセキュリティ研修会等への参加が必要であり、削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 電子自治体共同化は熊本県下の市町村での取り組みであるため適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 熊本県下の自治体が参加して事業を行っており、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

県が開催する会議に参加し、電子申請に取り組んでいるが、現状として申請手続きの増加や決済方法の確立など検討事項がある。今後の運用について、共同運営研究部会及び運営委員会等で議論する必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						